

研究題目 化合物ライブラリーを用いたがん悪液質治療薬の探索

研究組織

研究代表者：布川朋也（徳島大学病院泌尿器科）

共同研究者：片桐豊雅（徳島大学先端酵素学研究所）

【1】研究の概要

[1-1]本研究の目的・概要

化合物ライブラリーを用いて筋萎縮予防効果を発揮する化合物を同定するとともに、筋萎縮の改善の背景にある分子細胞学的機序を明らかにすることにより悪液質に対する新たな治療法の開発を目指す。

[3-2]学会発表

現時点での学会発表はなし。

[3-3]成果資料等

[1-2]研究の方法・経過

癌悪液質 *in vitro* モデルを用いて化合物スクリーニングを実施中。

現時点ではすべての薬剤の対象となる化合物は1,134化合物であり、スクリーニングは終了していない。

【4】今後の課題等

今後の課題、その他等

予定の化合物ライブラリーを用いたスクリーニング終了後に、*in vivo* モデルでの検証を行い治療薬としての可能性を検証する。

【2】研究成果

[2-1]本共同研究で明らかになった研究成果

現時点では1134の化合物すべてでのスクリーニングが終了していない。本研究におけるスクリーニングが終了した時点で、悪液質に対する治療法の開発に向けてさらなる検証を行う。

[2-2]本共同研究による波及効果及び今後の発展性

【3】主な発表論文等

[3-1]論文発表

現時点での論文発表はなし。